

No. 50

平成29年10月 発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館内

TEL. 054-653-2311 FAX. 054-653-2312
E-mail:sizurosi@vesta.ocn.ne.jp
<http://www.shizu-roshikyo.jp/>

しづ老施協

卷頭言

介護人材の育成とキャリアアップを目指して



静岡県介護福祉士会
会長
及川 ゆりこ

しづ老施協No.50発刊に際し、静岡県老人福祉施設協議会の歴史とこれまでの取り組みに敬意を表します。とともに、このような御挨拶の機会をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

さて、私ども静岡県介護福祉士会がこれまで特に進めてまいりましたことは、介護人材の育成とキャリアアップのための研修及び研鑽の場の提供でございました。

介護保険が始まって、提供する介護サービス内容や、事業所の種類などの多様化はめまぐるしい勢いで変化してまいりました。その環境や求められる生活の方においても変化は著しく、提供する介護サービスの質の担保と、新しいサービスに適応するための知識の習得に日々忙殺されている感は否めません。

グループホームの創設、地域密着型の小規模特養、小規模多機能型居宅介護並びに看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業、介護保険外ではサービス付き高齢者向け住宅と有料老人ホームなどの乱立、そして新たに新設される「介護医療院」など、事業所種別ごとの目的の理解とその対応、その変化や社会のニーズに合わせたサービスの提供を、私達は求められ続けます。これまでには、言うまでもなく、老人福祉施設協議会をはじめとする各団体との共働で作り上げることで、良質な介護の提供及びその質の担保を図ってまいりました。合わせてこのことが私どもの目指すものでございました。

しかし今、何より大きな課題は介護人材の確保でございます。少子高齢社会は、私達の環境下においても

深刻な問題となりました。「新入職員が確保できない」「人手不足のため事業所の一部を閉鎖せざるを得ない」「残業が増えた」このような危機的状況に手立てはあるのでしょうか。私どもに求められている『24時間365日体制』の施設介護等のニーズはまだまだこれからも増大してまいります。ニーズの増大は介護人材不足が慢性的である（継続する）ということでございます。

政府が打ち出す『介護人材確保対策』は即効性のある対策ではありません。合わせてその対策は不十分でございます。この状況を早く打開したい、と切実に思います。

このままでは、介護職員は皆疲弊し、世界一とまで言われている日本の介護があつという間に崩れてしまします。

介護現場の指導的役割を担う介護福祉士には、大きな課題が課せられました。この課題を解決するためには、多職種と協働して効果的、効率的で、良質な介護サービスの提供をさらに目指していくかなければならないでしょう。

静岡県介護福祉士会は、これまで以上に介護に携わる人たちに良質な介護サービスとなるような研鑽の場を提供してまいります。キャリアパスに合わせた人材育成を実施して、地域のニーズにも対応いたします。

おわりに、静岡県老人福祉施設協議会様の日ごろのご協力に感謝申し上げ、貴会のますますのご発展と会員の皆様のご繁栄をご祈念申し上げ、甚だ粗辞ではございますが、ご挨拶といたします。

（特別養護老人ホームいづテラス施設長）

特 集 1

県外研修に学ぶ

研修委員会委員 飯 塚 辰 也



毎年恒例の県外研修は、7月10日～11日で山形県に行ってきました。今年度は11名の参加者となり、近年にない盛り上がりを見せました。一昨年は兵庫県、昨年は石川県と遠方の施設を見学させて頂き、現地に行くことでその地域の実態やそこに根付く施設の取り組みを肌で感じることが出来ました。

初日は積極的な防災の取り組みにより山形県の中心的な存在となっている「ながまち荘」、2日目は同一敷地内に高齢者と障がい者が共存しており、さらに地産地消にこだわりを持つ「複合施設いきいきの郷」でした。

ながまち荘では、峯田施設長が全国老施協副会長、山形県老施協会長、山形県防災ネットワーク協会総合本部長、及び山形県防災士会副会長等を兼務され非常に精力的に地域のために尽力されていました。特に印象に残ったのは、地域をまとめる熱い想いです。「最初は老施協の会員のみで応援協定を結ぼうと考えました。でも、非会員だから入れないというのはおかしい。困っていたら助けるのが人として当たり前のことだと思う。だから村山地区の災害時応援協定は、会員非会員は関係ありません。」という言葉が印象的でした。更に東日本大震災では、石巻の特養入居者の受け入れを積極的に行うだけではなく、県内の協力施設へのオペレートも、ながまち荘を中心となって行ったそうです。

外国人の受け入れも積極的に行い、EPAについての施設長の持論があり、真面目で親日派の多いインドネシアの看護大学生を絶賛しておりました。勤務についても上手く教育・育成ができているなど感じました。実は峯田施設長は石川会長とも縁があることが判明し、更に交流が深まりました。これからは、他県との合同防災訓練も必要になるのではないかと感じまし

た。

2日目のいきいきの郷では、介護ロボット「HAL」の導入実績における報告がありました。非常に興味のあるところでしたが、現実はなかなか理想どおりには行かないと感じました。介護ロボットは今後も技術開発は進みますが、導入については各施設で入念な準備が必要であると感じました。

複合施設と言われるだけあって、同一敷地内にはケアハウス、学校の体育館程の広さの機能回復訓練室、更に天然温泉と温水プールのある地域福祉センターが併設されており、開かれた施設のひとつの理想があつた気がします。また、地産地消事業にも力を入れており、地域住民、利用者、職員共同による田植えや野菜作りにも積極的でした。広大な土地が有効に活用されており、お米は自家精米で貯い、季節ごとに収穫される野菜や果物は取れたてをみんなで味わうことができるはうらやましい限りでした。社会福祉法人の地域貢献のひとつの理想がここにもありました。

県外研修に参加するたびに、とてもいい刺激を受け、わが施設(松寿園)の伸び代を実感します。施設のサービス目標の一つに「地域に愛され貢献する施設」があります。この経験が目標達成のきっかけになるよう努めたいと思います。

(特別養護老人ホーム松寿園施設長)



特別養護老人ホームながまち荘にて

特 集 2

第9回静岡県高齢者福祉研究大会を終えて

高齢者福祉研究大会実行委員会副委員長 高 杉 威一郎



去る8月4日（金）、第9回静岡県高齢者福祉研究大会「未来へつなぐ ふじのくにの介護力～育てよう福祉の心 広がれ人の輪～」が東部地区プラサヴェルデで開催されました。参加状況といたしまして、研究発表者132名、参加者612名、運営スタッフ67名、総勢800名を超える盛大な大会となりました。

講演会は、(株)JR東日本グループ日本レストランエンタプライズ駅弁マイスター三浦由紀江氏を招き、「仕事は楽しく、自分に限界をつくらない」と題し、44歳で初の仕事となる駅弁売りのパートから、駅弁売上を5000万円アップ、カリスマ営業所長となった秘訣をご教授いただきました。特に心に残ったことは、「最高の演技と演出で提案する。頑張ったことは必ず成果につながる。そして、仕事を楽しみながら勇気をもって踏み出すこと。」でした。まるで、福祉の流儀を三浦氏から学んでいるかのような60分間でした。

研究発表につきましては、72題を超える応募をいたくことができました。第9回静岡県高齢者福祉研究大会優秀賞は下記の通り6施設が選出されました。その研究を見ると、ICT化・介護ロボット化、食事・食べること、終末期ケア、居場所作り・地域福祉など、静岡県の福祉は時代の最先端を研究していることがわかります。今回の大会テーマである～育てよう福祉の

心 広がれ人の輪～とは、先人から受け継いだ福祉を育て、最先端の福祉を展開し、世（利用者等）に広げていくことが未来の介護に繋がると確信いたしました。そして、参加された方は「やっぱり、介護っていいな」と再認識したのではないでしょうか。

結びに、ご参加いただいた会員施設の皆様、運営に携わって頂きました静岡県老人福祉施設協議会企画経営委員会、研修委員会、21世紀委員会、大会実行委員会の皆様、事務局の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

第10回大会は中部地区開催、静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）が開催場所となります。皆様の福祉の研究がより発展することを心よりお祈り申し上げます。

（特別養護老人ホームさぎの宮寮施設長）



第9回静岡県高齢者福祉研究大会 優秀賞

ブロック	発 表 者		演 題
	施設名	職名・氏名	
A	高麗	相談員 望月淳志 介護職員 増田桃子	すぐ繋がる！すごく繋がる！ ～インカムを導入して～
B	和合愛光園	管理栄養士 澤口潔美	とろみの使用基準統一に向けて
C	ぬまづホーム	介護職員 丸山光世 介護職員 川口優衣	Aさんの終末期ケアについて
D	ヘルパーステーション みはるの丘	介護福祉士 小畠将恵 在宅課長 長田直樹	みはるヘルパーは☆いくつ？ おいしいという笑顔のために
E	プレーゲおおひと	介護職員 神藏操 相談員 鈴木由祐	憩いの場所を提供するために・・・
F	ふじトピア	社会福祉士 福原隆行	わが地域の在宅医療介護連携の取り組み

新人職員紹介

どうぞよろしくお願ひします

みどりが丘ホーム

(函南町)

- ① 多田千草（ケアワーカー）
 - ② クッキー好きな私のために妹がクッキーを焼いてくれました。
 - ③ 宇野昌磨（フィギュアスケート選手）
 - ④ 家を買い、犬を飼いたいです。
 - ⑤ 皆さんのが安心して穏やかに楽しく生活できる施設を目指したい。
 - ⑥ 私たちの周りの介護士の方たちに評判がよく、働くならここと思っていました。



小鹿苑

(静岡市)

- ① 島口秀路（介護職員）
 - ② 実家（石川県）に帰って美味しいものを食べられた事（特に魚）。
 - ③ 子供の頃からずっとさまぁ～ずと歌手のコブクロが好きです。
 - ④ とりあえず貯金します。使い方はゆっくり家族と考えたいので。
 - ⑤ ご利用者様も職員も笑顔でいられるような施設。
 - ⑥ 学校の先生に紹介されたのがきっかけです。



和合愛光園

(浜松市)

- ① 松本起一（介護職員）
 - ② フットサルの試合で得点王になったこと
 - ③ 野田洋次郎（RADWIMPS）
 - ④ 両親と一緒に海外へ行ってサッカーの試合を観たい。
 - ⑤ 利用者も職員も笑顔でいられる職場にしていきたいです。
 - ⑥ 施設見学をした際に明るく利用者と接する職員の方を見て「ここで働きたい」と思いました。



各施設の新人職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは
④ もし宝くじで1億円当ったら何に使いますか
⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

- # 城ヶ崎いこいの園

(伊東市)

- 
 - ① 相馬菜帆（介護士）
 - ② 好きなグループのLIVEに行けたこと
 - ③ EXILE THE SECOND・大谷翔平
 - ④ 苦労しない生活をくりたい
 - ⑤ 余裕を持って働ける職場 自分らしく働ける職場
 - ⑥ 高校で福祉の道へ進み、伊東で働きたいという思いから



みどりの園

(島田市)

- 

① 福井咲恵（介護職員）
② (仕事面) 時間内で自分らしく仕事を進められるよう考えることができ
るようになってきたこと。(私事) 一歩先を考え、計
画的な楽しい休日を送れていること。
③ 特にはないが、それぞれのスポーツで楽しんでいるこ
とが見てわかるような選手や、一生懸命に戦っている
選手が好き。
④ 家族で旅行に行く。もしくは、祖父母や両親に旅行へ
行ってもらう。(楽しんでもらう)
⑤ 利用者さんが職員に気軽に意見・要望を言えるよう明
るく楽しい雰囲気の職場。利用者さんに不安がなく、
元気に暮らせる施設。
⑥ 職員同士や利用者と職員の仲が良く、明るい雰囲気の
施設だと思ったから。職員の皆さんのが優しそうだった
から。



あづきもち

(浜松市)

- ① 稲垣かな子（介護職員）
 - ② 東京に遊びに行ったこと
 - ③ 新垣結衣
 - ④ 旅行に行きたいです
 - ⑤ 笑顔あふれる施設にしていきたいです
 - ⑥ 実習をさせて頂いた際に、ユニットケアで利用者様一人一人の思いを尊重した介護を心掛けていたことに魅力を感じたため就職しました



静岡県老施協中部支部の活動紹介

特別養護老人ホーム高麗 インカム導入の取組み

(聞き手) 特別養護老人ホーム住吉杉の子園施設長 鈴木 佐知子

この度、第9回静岡県高齢者福祉研究大会において優秀賞を受賞した特別養護老人ホーム高麗のインカム導入の取り組みについて、その背景や効果を和田施設長からお聞きしたので、ご紹介します。

鈴木 インカムを導入するに至った背景や施設の課題について教えていただけますか?

和田 平成27年4月、ユニット型特養60床を増設したことにより、延床面積が増え、一日に働く職員数が増えたこと、新入職員を17人採用などの変化に伴い、課題が生まれました。一つは、伝言では確実性がなく、連絡ノートでは時間差が生じてしまうという情報共有の課題です。二つ目は、自分から積極的に質問できない職員へのフォローの課題です。三つ目は、職員数の増加に伴い、職員教育をする人・時間と共に今まで以上に必要になったことです。

鈴木 インカムを導入するまでの情報伝達はどうされていましたか?

和田 それまで情報伝達には36台のPHSを使用していました。

鈴木 インカムは何台導入しましたか?

和田 事務員や運転手を含む全ての職種に51台のインカムを導入しました。

鈴木 導入された成果とそれを職員はどのように評価されていますか?

和田 瞬時に必要な人と通信することができるため、職員を探し回る手間や時間を省くことが出来るようになりました。また、正確な情報を全員が一度で共有できるようになりました。

鈴木 予想していたとおりの業務の効率化に効果があったということですね。職員の心理面における効果はありましたか?

和田 10ユニットを運営していますが、増築した関係

で建物の構造上、誰がどこでどんな仕事をしているか把握しにくい現状があります。声を掛ければ誰かが応え、助けてくれますので、職員からは一人じゃない安心感が生まれたという多くの声を聞きます。

鈴木 事務員や運転手を含む職員も対象に機器を導入したとお聞きしましたが、その効果はどのようにありましたか?

和田 利用者の状況により多くの職種で連携し、支えていくという意識が深まりました。価値観を共有したチームアプローチが実現するようになり、施設職員全員で利用者様を見守るという成功例も具体的に出ています。

鈴木 その他の効果は何かありましたか?

また、よろしければ、検討している会員施設に参考となるよう、導入経費を教えて下さい。

和田 職員にとってインカムで他の職員の会話を聞くことは、自分ではない着眼点や洞察力の気づきを得られる貴重な機会となっており、人材育成の面でも一役かっています。これは導入の時には思いもよらなかった事です。経費については、1台5万円程度です。電波使用料は、1台につき年間500円になります。



研修委員会の活動

平成29年度「コミュニケーション研修」の評価（中間報告）

研修委員会副委員長 安河章央

研修委員会では、平成28年度に実施した研修に関するアンケートの結果、最も多かった「介護技術」に焦点を当て、その中でも「コミュニケーション技術」をテーマに東部・中部・西部の各委員の企画により実施しています。コミュニケーションは対利用者・家族・職員間・苦情対応等様々な場面が考えられるテーマであることから、今回はその中間まとめを報告します。

1 接遇マナー研修

21世紀委員会で主催していた当研修は、平成29年度から研修委員会に移管されました。昨年度同様元日本航空CAの先生をお招きし、「的確で思いやりのある応対を目指して」をテーマに身だしなみ、言葉づかい、電話対応、接遇動作を実践形式で学びました。

マナーとは、好印象を与えるための心づかい、気配りであるという先生の言葉が印象的でした。



静岡県総合社会福祉会館（6月12日）

2 家族とつくるケアチーム（東部会場）

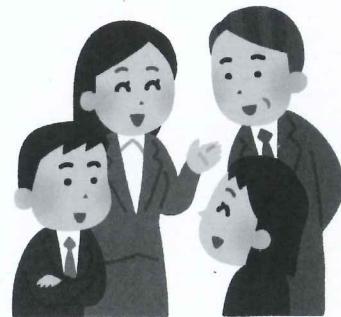
チームケアを実践するうえで家族の意味を考え、家族の持つ機能、家族との関係性を確認しました。2回に渡り、初回は、家族との関係性が介護に深く影響を与えること、家族をケアチームの一員にすることが大切であることを学びました。2回目は、それでもトラブルになった時の対処法を実際の事例に沿ってロールプレイ形式で行いました。ディスカッションを用いたため参加者同士の情報共有が活発に行われたことで利用者や入居者の介護に一生懸命になるだけでなく、家族とのコミュニケーションの重要性を確認しました。

3 多職種連携とコミュニケーション（西部会場）

多職種連携の重要性は誰もが承知していますが、連携を効果的に実施するための手法やメリット、デメリットの長所・短所を踏まえた実践について理解を深めることができました。対人援助における連携とは、利用者支援という目的を共有し単独では解決できない課題に対して主体的に協力関係を構築して、目的達成に取り組む過程と解説されました。「会議」をコミュニケーションの場とし利用者中心のチームとして何を目指すのかを共有することが重要であり、中でもリーダーの存在価値についても少数意見を聞き入れる必要性を述べていました。全国的に活躍されている先生をお招きし有意義な時間を過ごせました。

4 今後の予定

日本女子大学久田則夫教授を招き、11月20日（月）静岡市「もくせい会館」で、「職員間のコミュニケーション向上で、より良い職場づくりを目指す」研修会を開催します。



5 考察

国の財源事情から、給付費は制限されることが予想され、施設運営も厳しい時代を迎えています。その中を生き抜くために今何が必要か問われています。キーワードは、サービスの品質、ホスピタリティ、サービスマナーと言われています。巷では様々な介護や福祉に関する悲しい事件が起きており他人事として片付けることはできません。専門職の観点からは少し外れていると言う方もいるとは思いますが、客観的に見たときに上記の内容から逃げることはできません。今後も会員の皆様のお役に立つ研修を企画、実施してまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

（特別養護老人ホーム喜山・ぶなの森施設長）

平成29年度老施協活動報告

【老施協】

★29年8月4日

第9回静岡県高齢者福祉研究大会を沼津市プラサ
ヴェルデで開催、参加者総数832名 72題発表

* 講師 (株)日本レストランエンタプライズ

駅弁マイスター 三浦由紀江氏

★29年8月24日 第2回理事会

【協議事項】

共同研修等活動費助成金交付要綱の一部改正、会長
表彰受賞者の決定、防災訓練実施案、介護の日啓発
活動、平成31年度関東ブロック研究総会の対応

【報告事項】

第9回静岡県高齢者福祉研究大会の開催状況
県福祉長寿局との懇談会、各委員会の活動状況

【企画経営委員会】

★29年7月21日 第3回委員会

県要望チーム、調査研究チームの活動計画及びしづ
老施協第50号の編集内容

★29年8月17日 調査研究チーム

介護記録システム見学研修会の計画

【研修委員会】

★29年7月10日～11日 県外研修

山形県 ながまち荘、いきいきの郷

★29年8月18日

「多職種連携のためのコミュニケーション」
アクティシティ浜松コングレスセンター5階会議室
* 講師 北海道介護福祉道場赤い花 菊地雅洋氏

★29年9月14日 第3回委員会

平成29年度活動内容、ガイドライン策定案
研究発表Again!研修会について

★29年9月28日

「介護力向上研修～研究発表Again!～」

静岡県総合社会福祉会館 7階会議室

【21世紀委員会】

★29年8月8日 第3回委員会

「ケアフェスタ2017」の企画内容、SHIZUOKA
ミーティングの内容、各グループの事業内容

★29年8月21日 介護の魅力倍増セミナー

富士宮東高等学校 講演及びシンポジウム

★29年9月16日～17日

「ケアフェスタ2017 -ケア男子コンテスト-」の運
営・協力

【高齢者福祉研究大会実行委員会】

★29年7月21日 第9回静岡県高齢者福祉研究大
会合同委員会全体スケジュール、班別業務内容の確
認等について

【養護委員会】

★29年7月6日 第1回委員会

平成29年度活動計画について

【軽費委員会】

★29年6月29日～7月1日 施設長研修

北海道 社会福祉法人よいち福祉会 3施設

★29年7月3日 相談員・介護職員研修

* 講師 そなえざあしづおか代表 渡嘉敷唯之氏

【在宅委員会】

★29年8月10日 第1回委員会

平成29年度活動計画について

★29年9月19日 第2回委員会

平成29年度調査事業について

編集後記

8月のなかばは各地で盆踊りが盛んに行われています。妻良の盆踊りは毎年8月15日に行われ、室町時代の流れを受け継ぎ優雅な身振り、手振りが特徴で踊りの手の動きが拝むような動作、歌の調子は和讃等念佛調でゆったりとした時の流れを感じさせます。盆踊りは県の無形文化財に指定されており、地元の方、里帰りの方、観光に来られた方も輪の中に入り、踊る姿も見られ時の流れの中に溶け込んでいました。

(山本)

県立大のスーパーセミナーで本庶佑前理事長の講義を聞いた。いまがん患者への投与が話題となっているオブジーボの開発者である。今までの部位切除・抗がん剤・放射線という攻撃的な治療ではなく、人間が本来持つ免疫力にブレーキをかけている因子を排除し、がんを制圧するというヒトにやさしい発想は目からウロコであった。

(伏見)

最近読んだ本で、強く感銘を受けた本を紹介します。それは、二木立著『地域包括ケアと福祉改革』勁草書房です。この国の福祉はいったいどこに向かおうとしているのか。国は矢継ぎ早に施策を打ち出していますが、その施策を冷静な目で分析をしています。「今後人口高齢化が進んでも、社会扶養負担は増加しない」など

(上野)

新加入施設紹介

特別養護老人ホーム

豊田ゆうあいの里

法人名 社会福祉法人遠州中央福祉会
 開設日 平成17年10月7日
 (入会申込 平成29年5月29日)
 施設長 鈴木 晃
 所在地 磐田市下万能700
 入所定員 80名 短期 20名
 デイサービス 30名



特別養護老人ホーム

第二白寿園

法人名 社会福祉法人白寿会
 開設日 平成29年4月1日
 (入会申込 平成29年7月1日)
 施設長 伊藤 茂記
 所在地 磐田市掛塚3160-1
 入所定員 40名



デイサービスセンター（単独）

みもざ

法人名 社会福祉法人岳陽会
 開設日 平成22年5月1日
 (入会申込 平成29年8月1日)
 施設長 渡邊 瞳
 所在地 富士市岩本133-1
 入所定員 デイサービス 40名

特別養護老人ホーム

袋井ゆうあいの里

法人名 社会福祉法人遠州中央福祉会
 開設日 平成26年4月1日
 (入会申込 平成29年5月29日)
 施設長 福田 公生
 所在地 袋井市小山1410-1
 入所定員 80名 短期 10名



地域密着型介護老人福祉施設

プレーゲおおひと

法人名 社会福祉法人春風会
 開設日 平成27年4月1日
 (入会申込 平成29年4月1日)
 施設長 飯田 忠
 所在地 伊豆の国市白山堂408-9
 入所定員 29名 短期 10名
 デイサービス 25名



◎「しづ老施協」は回を重ね、50号を迎えました。

「しづ老施協」へのご感想・ご意見をメールにてお寄せ下さい。(sizurosi@vesta.ocn.ne.jp)